

環境経営レポート2025

(対象期間:2025年1月~12月)

イメージキャラクター「エコマル」



profile

名前: エコマル
生年月日: 2010年1月1日
身長: 99.9cm
体重: 99.9kg
パワー: 99.9馬力
資格: ダジャレ1級
趣味: 散歩
好物: 駄菓子
特技: リデュース・リユース・リサイクル

限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会をつくろう
とする為に作られた近未来型ロボット「エコマル」

発行日 2026年2月16日

EB-0820

目次

1. 事業概要	3
2. 対象範囲	5
3. 環境経営方針	7
4. 環境経営目標とその実績	8
5. 環境経営計画	12
6. 環境経営活動の取組結果の評価及び今後の取組み	13
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	14
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	15

■ 事業概要

1 事業者名及び代表者名

株式会社 まるやま
代表取締役 丸山得治

弊社は昭和28年に個人営業から法人化を行なって、有限会社丸山商店として事業を展開して参りましたが、平成23年に「株式会社まるやま」として新たなスタートを切り、今日に至っております。

この間、多くのお取引様や地域の方々のご支援を得ながら、

『**自然環境との調和**』をモットーに地域に根ざした事業者として、
廃棄物の適正処理や資源のリサイクルを通じて循環型社会構築の一助とすべく、従業員一同日々努力研鑽を重ねて参りました。

今後とも、より多くの資源の再利用に取り組んでいく所存です。

2 所在地

本社	栃木県鹿沼市戸張町2311番地	電話 0289(62)2685
宇都宮営業所	栃木県宇都宮市上戸祭3-8-24	電話 028(621)2876
鹿沼営業所	栃木県鹿沼市栃窪706-3	電話 0289(65)1446
日光営業所	栃木県日光市板橋1670-1	電話 0288(27)3580
千渡資材置場	栃木県鹿沼市千渡1497-3	

3 事業内容

製紙・製鉄・非鉄金属・特殊金属原料リサイクル／一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬／
機密文書処理／機密性装置及び設備処理／重量物搬出処理

4 事業規模

設立年月日	昭和28年10月9日
資本金	10,000,000円
売上高	565百万円(2025年度)
敷地面積	4612㎡
従業員数	30人

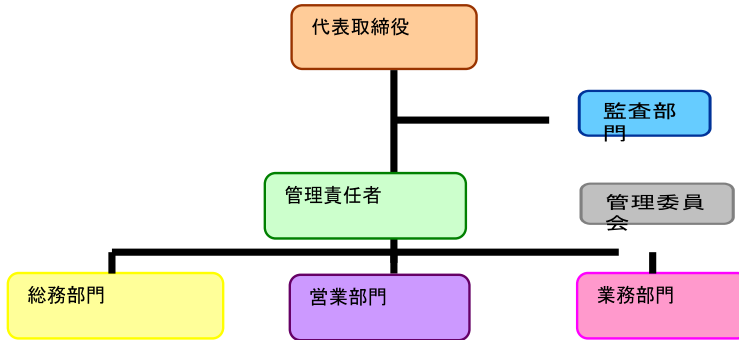
5 環境管理責任者指名及び連絡先

環境管理責任者 鈴木栄司

<http://ecomaru.net/toiawase.html>

お問い合わせは上記URLよりお願いいたします。

6 組織体制



7 保有許可一覧

○産業廃棄物収集運搬業

許可地域	許可番号、許可の取得日及び許可の有効期限	許可品目(積替え保管を除く)
栃木県	00900046912 許可日:2019年2月22日 有効期限:2026年2月21日 (優良認定) ※更新手続き中	・汚泥・廃油・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず ・廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む) ・がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む) ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む)
茨城県	0801046912 許可日:2022年11月21日 有効期限:2027年7月18日	・廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く) ・紙くず

○一般廃棄物収集運搬業

都道府県及び政令都市	許可番号および許可の取得日	許可の有効期限
鹿沼市	第50号 2025年 5月30日	2027年5月31日
宇都宮市	第90号 2025年11月12日	2027年10月14日

○電子マニフェスト 許可番号 046912

○古物商 第411050000023号(1987年5月6日取得)

○廃棄物再生事業者登録

都道府県及び取得日	許可番号および廃棄物の再生に係る事業の内容
栃木県 取得日:2014年1月16日	24 金属くず(産業廃棄物)
栃木県 取得日:2014年5月7日	25 古紙(産業廃棄物)

○再生資源回収事業者認定

許可番号および許可の取得日	許可の有効期限
第N09K-00238号 2023年12月6日	2026年 12月5日

○計量証明事業登録 第0534号

○第一種フロン類回収業者

許可番号および許可の取得日	許可の有効期限
栃木県 第1-1184号 2023年11月8日	2028年 11月7日

○プライバシーマーク

許可番号および許可の取得日	許可の有効期限
第10870042(03)号 2025年12月10日	2027年 12月9日

○エコアクション21

許可番号および許可の取得日	許可の有効期限
0000703 2024年3月30日	2026年3月29日

8 処理の実績(2025年1月～12月)

産業廃棄物

収集運搬	
紙くず	94.680t
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	136.500t
がれき類	59.496t
木くず	605.498t
金属くず	366.598t
繊維くず	1.752t
廃プラスチック類	1046.110t
廃油	1.240t
汚泥	16.260t
水銀使用製品	0.900t
合 計	2329.034t

一般廃棄物

収集運搬	
可燃ごみ	200.78t
不燃ごみ	0.25t
粗大ごみ	0.00t
ビン	1.10t
ペットボトル	0.00t
合 計	202.13t

9 収集運搬車両

車両の形状	運搬品目	自動車登録番号	最大積載量	寸法
キャブオーバー	許可品目全般 (廃油は除く)	栃木 11 み 623	4000kg	645×219×245
塵芥車	許可品目全般 (廃油は除く)	宇都宮 800 せ 3198	1750kg	614×190×240
塵芥車	許可品目全般 (廃油は除く)	宇都宮 800 せ 4325	2600kg	583×212×243
塵芥車	許可品目全般 (廃油は除く)	宇都宮 800 す 6769	2000kg	529×185×238
塵芥車	許可品目全般 (廃油は除く)	宇都宮 100 す 7815	2550kg	632×210×212
塵芥車	許可品目全般 (廃油は除く)	宇都宮 800 す 7115	2000kg	517×185×227
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 は 6265	11700kg	799×226×268
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 は 8130	10800kg	1188×250×312
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 は 8170	7700kg	1088×249×347
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 は 771	7300kg	947×245×304
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 は 2424	5400kg	799×223×332
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 そ 8413	3800kg	679×220×282
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 そ 7968	3000kg	614×190×240
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 そ 6151	2000kg	614×217×224
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 そ 6470	3750kg	726×229×254
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 は 5130	7900kg	942×230×296
脱着装置付コンテナ専用車	許可品目全般	宇都宮 100 は 5267	8000kg	614×229×252
バン	許可品目全般	宇都宮 100 せ 2778	2000kg	618×220×305
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 400 つ 4770	2000kg	468×169×198

※寸法・長さ×幅×高さ 単位cm

10 情報公開事項

その他の情報は

自社HP : <http://www.ecomaru.net>

優良産廃処理業者認定制度による情報公開制度のための産業廃棄物情報サイト

産廃ネット: <http://www.sanpainet.or.jp/>

を参照下さい

■対象範囲

当社は、全ての組織・全ての活動を認証登録の対象範囲としています。

環境経営方針

私達株式会社まるやまは、「自然環境との調和」をスローガンに、本業である製紙、製鉄、非鉄金属原料リサイクル及び一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬業務活動を通じ、運搬に伴う二酸化炭素の排出抑制や、廃棄物の発生抑制に努め、微力ながら持続可能な循環型社会の形成に向けて邁進いたします。

具体的取組

1. 環境関連法規制の遵守

環境に関する法規制、条例及び加盟団体の規約を遵守し、自社を取り巻く環境の継続的改善と汚染の予防に努めます。

2. 環境負荷の低減

自社の事業活動による環境負荷を最小限にするべく目標を設定し、全員で取り組みます。

- ・運搬に伴う二酸化炭素の排出抑制に努める
- ・再生資源化事業の推進に努める
- ・事務所及び事業場における節電、節水、廃棄物削減に努める
- ・グリーン購入の推進に努める
- ・3S活動の推進に努める

3. 全従業員への周知と公表

この環境方針は社内に掲示し、全従業員に周知する。

また、環境活動レポートに盛り込んで、外部にも公表する。

制定 2005年10月1日

改定 2021年 3月10日

代表取締役 丸山 得治

(株)まるやま

■環境経営目標とその実績

1.中期目標(2024年度～2026年度)

		基準	目標			
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
二酸化炭素排出抑制	電力消費量削減 (鹿沼営業所)	7224kwh	1%削減 7152kwh	2%削減 7080kwh	3%削減 7007kwh	
	電力消費量削減 (日光営業所)※	32.19kwh/t	現状維持	現状維持	現状維持	
	車両の軽油使用量の削減	6.926ℓ/t	1%削減 6.857ℓ/t	2%削減 6.787ℓ/t	3%削減 6.718ℓ/t	
	二酸化炭素排出量の削減	179,611kg-CO2	1%削減 177,815kg-CO2	2%削減 176,019kg-CO2	3%削減 174,223kg-CO2	
水使用量削減	節水 (鹿沼営業所)	21m ³	年間使用量 25m ³ 以下	年間使用量 25m ³ 以下	年間使用量 25m ³ 以下	
	節水 (日光営業所)	86m ³	年間使用量 50m ³ 以下	年間使用量 50m ³ 以下	年間使用量 50m ³ 以下	
廃棄物排出抑制	再生資源 取扱量を 増やす	鉄・非鉄	100	1%増加 101	2%増加 102	3%増加 103
		古紙	100	1%増加 101	2%増加 102	3%増加 103
	使用済み用紙のリサイクル	42.6kg	実績把握	実績把握	実績把握	
グリーン購入	環境配慮商品の購入	28品目	実績把握	実績把握	実績把握	

・注釈事項は、上記に同じ ※電力消費量削減(日光営業所)は取扱重量当りの数値を出している

2.2025年度目標と実績

(2025年1月～12月)

		基準	目標	実績	
二酸化炭素排出抑制	電力消費量削減 (鹿沼営業所)	(2023年度実績) 7224kwh	2%削減 7080kwh	5818kwh (-22%)	達成
	電力消費量削減 (日光営業所)※	(2023年度実績) 32.19kwh/t	現状維持	32.92kwh/t (+2%)	未達成
	車両の軽油使用量の削減	(2023年度実績) 6.926ℓ/t	2%削減 6.787ℓ/t	8.145ℓ/t (+17%)	未達成
	二酸化炭素排出量の削減	(2023年度実績) 179,611kg-CO2	2%削減 176,019kg-CO2	168,140kg-CO2 (-4.5%)	達成
水使用量削減	節水 (鹿沼営業所)	(2023年度実績) 21m ³	維持管理目標 25m ³ 以下	23m ³	把握
	節水 (日光営業所)	(2023年度実績) 86m ³	維持管理目標 50m ³ 以下	38m ³	把握
廃棄物排出抑制	再生資源 取扱量を 増やす	鉄・非鉄	(2023年度実績) 100	2%増加 102 (-6%)	94 未達成
		古紙	(2023年度実績) 100	1%増加 101 (-4%)	96 未達成
	使用済み用紙のリサイクル(鹿沼)	(2024年度実績) 30kg	実績把握	31kg	—
	使用済み用紙のリサイクル(日光)	(2024年度実績) 4.9kg	実績把握	1.4kg	—
グリーン購入	環境配慮商品の購入 (鹿沼営業所)	(2024年度実績) 30品目	実績把握	26品目	—
	環境配慮商品の購入 (日光営業所)	(2024年度実績) 0品目	実績把握	0品目	—

・購入電力の排出係数は平成26年度公表の東京電力の0.531を使用

・化学物質はエンジンオイル・潤滑油・グリス等であり、PRTR対象物質が無い為、目標に取り上げていません。

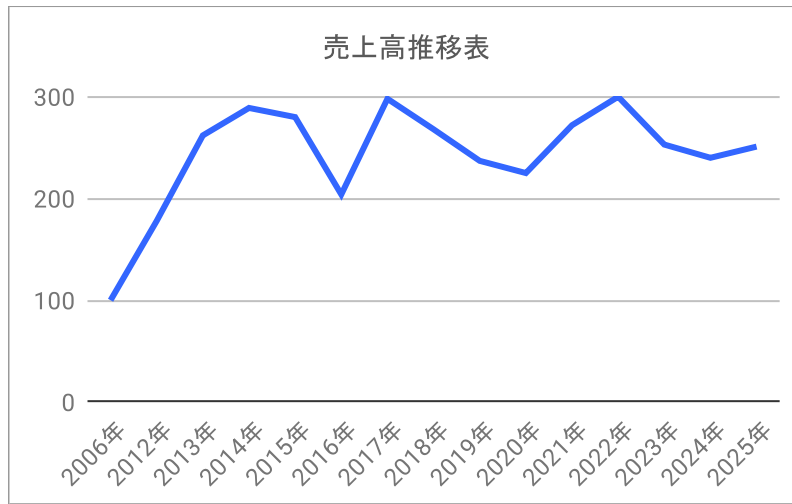
・再生資源物取扱量については基準年の実績値を100とした指標で表している。

・事業における環境配慮の目標は、二酸化炭素排出量の削減と再生資源取扱量を増やす項目が該当します。

※電力消費量削減(日光営業所)は取扱重量当りの数値を出している

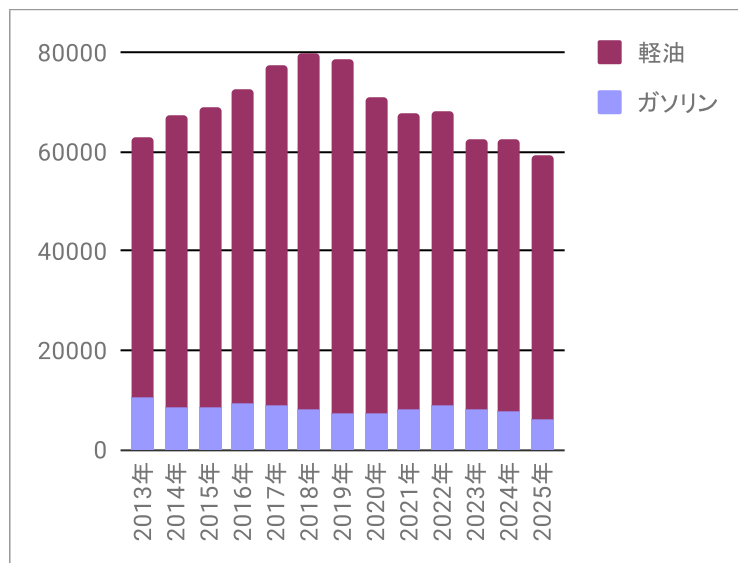
売上高の推移 ※2006年売上高を指標(100)とする

2006年	100
2012年	178
2013年	262
2014年	289
2015年	280
2016年	204
2017年	298
2018年	268
2019年	237
2020年	225
2021年	272
2022年	300
2023年	253
2024年	240
2025年	251



燃料使用量の推移(単位:L)

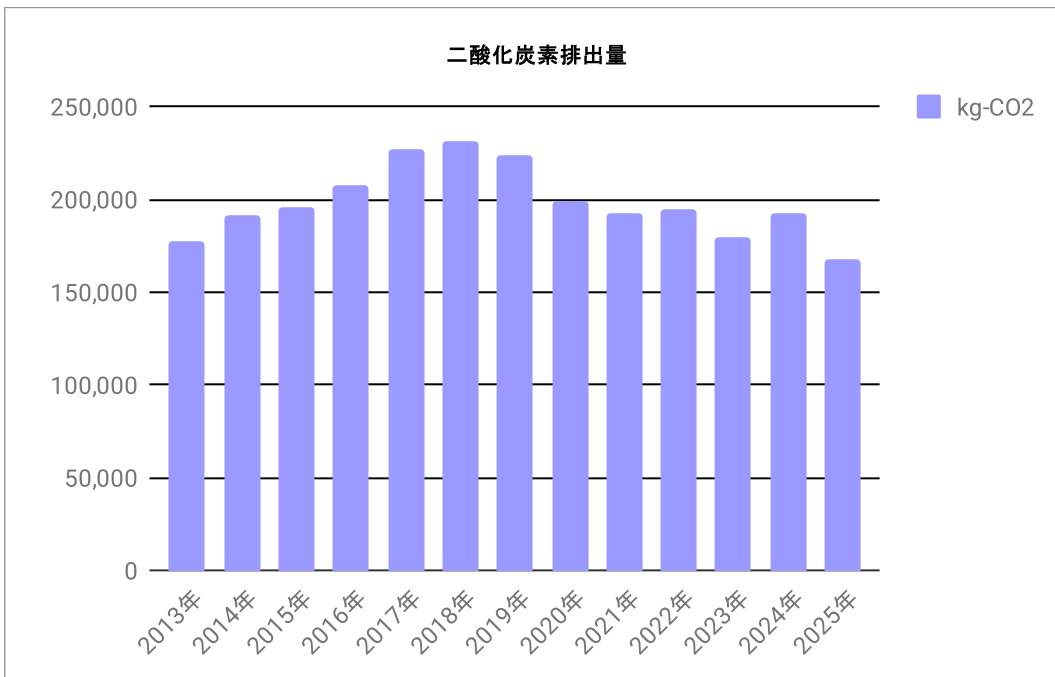
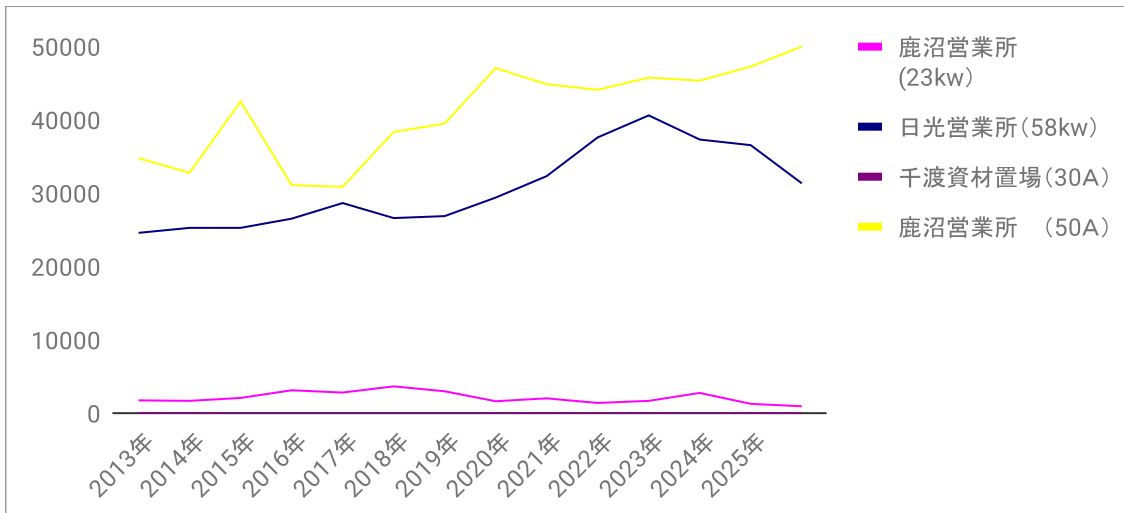
	ガソリン	軽油	合計
2013年	10608.38	52140.87	62749.25
2014年	8421.63	58821.15	67242.78
2015年	8452.01	60495.26	68947.27
2016年	9224.99	63360.11	72585.10
2017年	8671.27	68609.90	77281.17
2018年	8045.5	71572.86	79618.36
2019年	7248.36	71466.44	78714.80
2020年	7109.31	63972.12	71081.43
2021年	8065.38	59499.90	67565.28
2022年	8748.84	59430.64	68179.48
2023年	8095.71	54357.95	62453.66
2024年	7797.24	54635.06	62432.30
2025年	6092.71	53025.62	59118.33



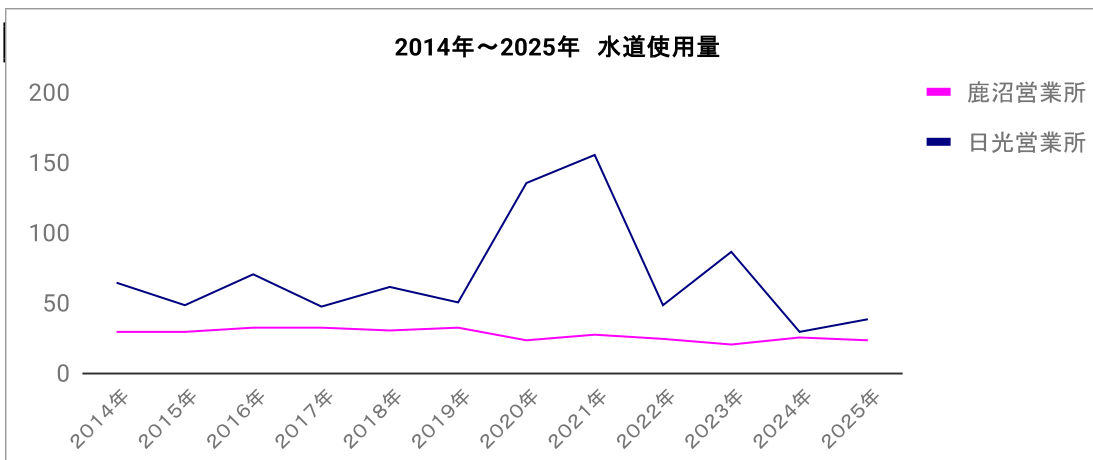
電気使用量の推移 (単位:kwh)

	鹿沼営業所 (50A)	鹿沼営業所 (23kw)	日光営業所 (58kw)	千渡資材置 場(30A)
v	3,402	1,775	24,614	0
2013年	3,207	1,709	25,294	0
2014年	4,159	2,105	25,295	0
2015年	3,043	3,149	26,546	0
2016年	3,020	2,841	28,676	0
2017年	3,750	3,685	26,631	0
2018年	3,863	3,013	26,896	0
2019年	4,602	1,657	29,420	0
2020年	4,387	2,050	32,350	0
2021年	4,313	1,423	37,627	0
2022年	4,475	1,707	40,626	0
2023年	4,435	2,789	37,335	0
2024年	4,622	1,301	36,569	0
2025年	4,888	970	31,369	0

※日光営業所は、2010年5月半ばより6kwから58kwに契約変更。

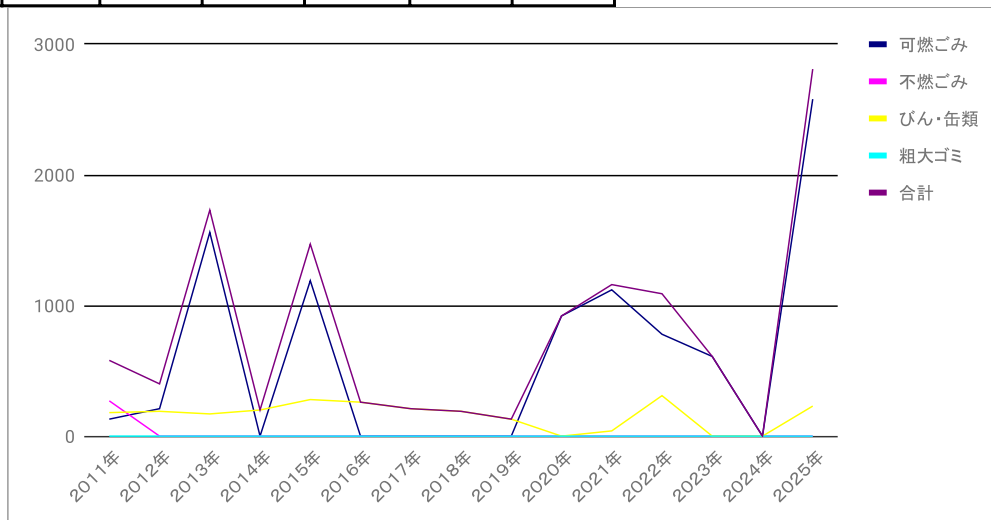


水道使用量(m3)



一般廃棄物排出量の推移 (単位:kg)

	可燃ごみ	不燃ごみ	びん・缶類	粗大ゴミ	合計
2011年	130	270	180	0	580
2012年	210	0	190	0	400
2013年	1560	0	170	0	1730
2014年	0	0	200	0	200
2015年	1190	0	280	0	1470
2016年	0	0	260	0	260
2017年	0	0	210	0	210
2018年	0	0	190	0	190
2019年	0	0	130	0	130
2020年	920	0	0	0	920
2021年	1120	0	40	0	1160
2022年	780	0	310	0	1090
2023年	610	0	0	0	610
2024年	0	0	0	0	0
2025年	2580	0	230	0	2810



産業廃棄物排出量の推移 (単位:kg)

年	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート 及び陶磁器屑	金属屑	がれき類	廃油 (ℓ)	紙くず	木くず	繊維くず	合計
2011年	3,200	0	0	0	300	0	3,550	0	7,050
2012年	3,140	2,300	0	0	0	85	0	0	5,525
2013年	4,400	1,150	0	0	0	0	3,470	0	9,020
2014年	8,400	0	0	0	0	0	12,465	0	20,865
2015年	6,200	0	0	0	0	450	4,950	0	11,600
2016年	1,630	0	226	296	0	0	2,145	0	4,297
2017年	3,500	0	0	0	0	0	0	0	3,500
2018年	2,715	500	0	0	0	300	0	6,325	9,840
2019年	350	0	0	0	0	0	2,130	0	2,480
2020年	710	0	0	0	0	0	0	0	710
2021年	14,780	0	0	2,960	0	900	2,840	0	21,480
2022年	14,240	500	565	0	0	0	11,260	0	26,565
2023年	1,200	500	0	4,400	0	0	0	0	6,100
2024年	10,800	1,500	0	0	0	200	12,120	0	24,620
2025年	7,020	13,000	0	1,480	0	530	3,450	0	25,480

■環境経営計画

環境目標		環境活動計画の内容	実施時期
運搬車両の燃費向上	エコドライブ	・ 無用なアイドリングをやめる。必要以外はエンジンOFF(1時間のアイドリングで最大1800ccもの燃料が無駄になる)	通年
		・ 急発進、急加速、急ブレーキをやめ、車間距離をとる	通年
		・ 一定の時速で走らせるよう心掛ける。不必要なスピードは出さない。	通年
		・ エコドライブチェック表の作成	通年
		・ 過積載運行の防止、不要なものは積まない。	通年
	経済走行	・ 引取先、納入先への最短ルートや混み具合をみて、効率がよくて、燃費消費の少ないルートをできるだけ選ぶ	通年
		・ 戻り便を有効利用させる。	通年
保守管理	・ 決めている周期で必ず車両点検チェックを行う。	通年	
節電・節水・紙資源使用量の削減	節電	・ 不必要な電気は消すように心掛ける。	通年
		・ OA機器(パソコン、プリンター、コピー機等)は省エネモードに設定する。	通年
		・ 空調温度設定は、夏季28℃以上、冬季20℃以下を徹底する。	通年
		・ 日中、照度が十分に得られる場所は、照明機器を消灯させる。	通年
		・ クールビズ、ウォームビズをとりいれる	通年
		・ 装置類の空運転をしない	通年
		・ 装置類を使用しない時は必ず電源を切る	通年
		・ 装置類の定期点検の実施	通年
	節水	・ ソーラーパネルの活用	通年
		・ 水を出しっぱなしにしない。	通年
		・ 節水コマの導入。	通年
	紙資源使用量の削減	・ 定期的は漏水していないかチェックする。	通年
		・ 片面印刷の使用済み用紙は、裏面を再利用させる。	通年
・ 使用済み封筒は、再利用するよう心掛ける。		通年	
再生資源の削減・事業の推進	再生資源の推進	・ 資料、データの共有化を心掛ける。(LAN接続の活用)	通年
		・ 電子メール、無料オンラインストレージ等を有効に使いペーパーレス化を推進させる。	通年
		・ 入荷、出荷、在庫のデータを毎月管理する。	通年
		・ コンテナ稼働状況をチェックする。	通年
		・ 営業部門を拡大させる。(採用情報で営業職を呼びかける)。	通年
		・ 広告活動(インターネット、DM等)。	通年
	・ 環境展、リサイクル工場の見学。	通年	
・ 中間処理場の計画。	通年		
・ 勉強会、講習会等に参加する。	通年		
事務所にける一般廃棄物削減	・ 分別を徹底させる。	通年	
・ 印刷物等紙資源は徹底してリサイクルする。	通年		
地域環境購入・人材の教育・3S活動	グリーン購入	・ 環境配慮商品を優先的に選ぶ。	通年
	人材の教育	・ 環境に関する情報など鹿沼営業所内に掲示し、全従業員に周知する。	通年
		・ 必要資格の取得、講習の受講などを推進する。	通年
		・ 毎朝のミーティングにより、教育を行う。	通年
		・ 緊急事態の訓練を実施し、緊急事態発生に備える。	通年
	3S活動	・ S1整理 「今要るモノ」「急がないモノ」「要らないモノ」を区別する。	通年
		・ S2整頓 「要るモノ」を「要る時に」「すぐ取り出せるよう」ように5頓する。(5頓とは「定位置」「定方向」「定量」「表示」「標識」)	通年
・ S3清掃 「ゴミ、チリ、ホコリ、汚れ」がなく「ピカピカの状態」を維持する。		通年	
地域環境活動	・ 再生資源回収事業を通じて地域とのコミュニケーションをとる。	年1回	

■環境経営活動の取組結果の評価及び今後の取組

1.二酸化炭素排出抑制

(1)電力消費量削減

(鹿沼営業所)

2025年度も、2023年度の結果を基準にし目標を設定している。
設備更新等の特別な対策は実施していないが、不要な照明の消灯、
機械の待機電力削減など日常管理を徹底した結果、目標を大幅に達成する
ことができた。

今後も現状の管理体制を維持し、さらなる効率化を検討していく。

(日光営業所)

日光営業所も未達成が続いたため、2023年度の結果を現状維持という
目標設定にした。結果はほぼ昨年と横ばい。僅かながら目標を達成する
ことができなかった。

目標値にはわずかに届かなかったが、大幅な増加ではなく管理可能な範囲内
と考えられる。引き続き日常的な節電意識の徹底および設備の効率化運用
により改善を目指す。

(2)車両の軽油使用量の削減

取扱重量の減少により、固定的に発生する重機および車両の燃料使用量の
割合が増加し、軽油使用量の原単位が上昇した。その結果、目標を達成する
ことができなかった。

今後は車両稼働の効率化、アイドリングストップの徹底、積込効率の向上等
により燃料使用量の抑制を図り、原単位の改善に努める。

(3)二酸化炭素排出量

電力使用量の削減等により、二酸化炭素排出量は目標値を下回る結果
となり、目標を達成することができた。

今後もエネルギー使用量の適正管理を継続し、排出量削減に努める。

2.水使用量削減

(鹿沼営業所)

今年度も概ね例年並みの結果となった。

大幅な変動はなく、安定した環境管理が継続できていると評価する。

今後も現状の管理体制を維持しつつ、さらなる効率化の可能性を
検討していく。

(日光営業所)

水使用量は目標を下回り、安定した管理状況が維持できている。
主な用途は衛生管理及び必要最小限の散水であるが、今後も漏水
確認や使用状況の点検を継続し、適正使用に努める。

3.廃棄物排出抑制

(1)再生資源取扱量を増やす

本業として循環型社会形成に貢献する観点から、再生資源物取扱量の増加を目標として
設定している。

しかしながら、今年度は持込量及び引取量が全体的に減少し、鉄・非鉄、古紙ともに目標を
下回る結果となった。

今後は既存取引先との関係強化および新規取引の開拓に努め、安定した取扱量の確保を目指す。

(2)使用済み用紙のリサイクル

電子化の推進により印刷機会は減少傾向にあるが、得意先の要望により一定の紙使用は
継続している。使用済み用紙は適切に分別し、再資源化を実施している。

今後も可能な範囲で電子化を進め、紙使用量の削減を図る。

4.グリーン購入

購入時には環境配慮型製品の有無を確認し、優先的に選定している。

2025年度は26品目を購入した。

今後も環境情報の収集を行い、選択肢が広がる製品については積極的に取り入れていく。

■環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

法令等の名称	対象施設/設備/業務等	主な要求事項
廃棄物処理法	・収集運搬業者 (廃プラ、金属くず、木くず等 9品目)	・委託契約書の締結 ・産業廃棄物収集運搬実績報告書の提出 ・産業廃棄物収集運搬業許可申請書の提出 ・車両への表示/提携義務
	・排出業者	・委託契約書の締結 ・マニフェストの発行/返送管理 ・マニフェストの交付等状況報告書の提出 ・処理状況確認(努力義務)
自動車 NOx・PM法	・ディーゼル車	・埼玉、千葉、東京、神奈川を通過する場合 九都県市条例が適用される。
フロン排出抑制法	・冷媒回収業者 (エアコン及び冷凍/冷蔵機器)	・第一種フロン類回収量の報告書提出 ・第一種フロン類回収業者登録申請書提出
自動車 リサイクル法	・保有台数 ①15tトラック 1台 ②10tトラック 1台 ③8tトラック 4台 ④6tトラック 1台 ⑤4tトラック 3台 ⑥3.5tトラック 1台 ⑦3tトラック 2台 ⑧2tトラック 7台	・リサイクル料金の預託
下水道法	・生活排水	・油や有害物を流さない
計量法	・計量事業所	・計量証明書報告書の提出 ・台貫の検査(2年毎)

環境関連法規に関しては、2026年1月16日に遵守状況を確認し、違反はありませんでした。
また、関係当局からも創業以来、違反等の指摘は1件もありません。
同様に、訴訟や苦情等もありませんでした。

■ 代表者による全体評価と見直しの結果

2025年度は電力使用量、水使用量及び二酸化炭素排出量については目標を達成しており、全体として環境負荷の低減に向けた管理は適切に行われていると評価する。一方で、軽油使用量(原単位)および再生資源物取扱量については、取扱量の減少や市場動向の影響を受け、目標未達となった。しかしながら、外部要因による影響が大きく、環境管理の取組自体は継続して実施できている。

2026年度は、重機及び車両の効率的な運用を徹底し、アイドリングストップや空走行の削減など基本的な省エネルギー対策を確実に実施すること。また、取扱量の変動に左右されにくい運用を意識し、引取計画の段取りや相積みの推進等により燃料使用量の抑制に努める。さらに、再生資源物の安定確保に向けて既存取引先との連携強化および営業活動の継続を指示する。